



取り組むべき課題山積 その1 …地位協定の改定

後片づけは自衛隊

2月20日、米空軍三沢基地（青森県三沢市）所属のF16戦闘機が離陸直後、エンジンから出火。基地北側の小川原湖に燃料タンク2本を捨てました。

湖はシジミ漁の最盛期で船約10隻が操業しており、漁船から約400メートルの地点にタンクが落下しました。小川原湖の漁協は、この日とったシジミは廃棄、最盛期のシジミ漁の自粛に追い込まれて、再開には1ヶ月もかかりました。

ところで、残骸や破片の回収は、県知事の災害派遣要請に基づいて、海上自衛隊がしました。米空軍とは、3月5日になってやっと、破片の回収作業を海上自衛隊と実施したとの報道がありました。米軍に代わって海上自衛隊が回収作業を下請け、漁協が受けた被害の補償は日本政府がするということでも独立国とは思えないことが起こっています。

オスプレイ横田配備

沖縄に配備されたMV22オスプレイが事故や緊急着陸が相次ぐ中、今度は横田基地へオスプレイCV22が配備されることになりました。訓練では国内の航空法を無視した低空飛



【横田基地に配備されるオスプレイ】

行や、夜間訓練なども危惧されます。桜区の上空を飛ぶかもしれません。

米国が自分の国では飛ばさないオスプレイを日本では好きなように運用する。オスプレイの辺野古沖での墜落、ヘリ不時着、部品の落下など相次ぐ米軍の事故に対しても、日本政府は有効な対策を講じることが出来ません。一方的に通告されて米国の言いなりに動くことしか出来ない政府は、一体誰を代表する政府なのか？とても独立国とは思えないことが続いているのは何故なのでしょう。

その理由は地位協定

その理由は「日米地位協定」です。日米地位協定は、文字通り日本に駐留する米軍の地位について定めた取り決めです。分野は多岐にわたりますが、ひとたび米軍関係者の事件・事故に巻き込まれると、日本の法律よりも優先される地位協定の存在を

思い知らされることとなります。小川原湖で起こったことは、まさにこれで、万が一死傷者が出た場合でも米軍の責任を問うことが出来ないし、米軍は補償もしません。私たちは、これまで多くの事例をいやというほど見てきました。

敗戦国だから仕方がない？

日本と同じ敗戦国ではどうなっているのでしょうか。

どいつでは「ドイツにおけるNATOの地位協定の補足協定」を大幅改定して、米軍の基地使用に対してドイツ法が適用されることが明文化されています。環境評価や環境回復措置について特別の条項も定めています。同じく敗戦国のイタリアではすべての米軍基地は、イタリアの軍司令官の管理下に置かれていて、イタリア軍は毎日米軍から飛行計画

を提出させ審査しています。訓練飛行にもイタリアの国内法を適用し、昼寝の時間帯には飛行させないなど、米軍機の飛行回数やルートを制限しています。

改憲ではなく地位協定の改定を！

改憲の必要性を訴える政治家たちは、米国による「押し付け憲法」論を声高に叫びます。しかし、同じ政治家たちが、米国が日本に主権の制限を押し付けている日米地位協定の見直しを叫ぶのを聞いたことがありません。しかし、日本政府が、米国から押し付けられている「日米地位協定」の見直しをしたうえで改定交渉をし、占領下のような体制からの脱却を実現することこそが国民の強く希望していることだと思います。



◎市民講座&カフェの報告

■「原発の町を追われて 第3部」上映会

2月25日（日） 田島公民館

「第3部」は30分ほどの作品ですが、原発事故時に双葉町から避難してきたUさんの「今」を映し出しています。Uさんは、避難先の埼玉県で農業を始めますが、誤解と偏見の中、大変な思いをしながら生活しています。「逃げたくて逃げてきたんじゃないよ」との言葉には、不条理に対する怒りとそれでも生きなければならないという覚悟が感じられ、被災者に対する保障が縮小されていく現状をなんとか改善しなければならないことを改めて感じました。上映後は、監督の堀切さとみさん（桜区在住）より「第3部」制作のお話を伺い、質問と感想の時間では、福島出身の参加者から、原発が建設される頃の様子や福島の知人のことなど、貴重な話を聞くことができました。

■おしゃべりカフェ 「オリンピック報道と平和について」

3月25日（日） 栄和公民館

スピードスケート女子の小平選手がマハトマ・ガンジーの「明日死ぬかのように生きよ永遠に生きるかのように学べ」という言葉を胸に刻んでいた話

が出たり、バイクのレースで全国大会に出場していた参加者からはアスリート側からの話も聞きました。古代ギリシャで平和の祭典として開催されていたオリンピックを近代に復活させたクーベルタンの意志とは異なり、1936年のベルリンオリンピックではナチスの宣伝に利用され、現在でも（それぞれのアスリートには敬意を表しますが）国威発揚、経済効果、勝利至上主義を主たる目的としているとしか思えない状況です。しかし、だからこそ今が、オリンピックを本当の平和の祭典として私たちが参加し、平和のために利用できるものに変える第一歩を踏み出すべき時であることに、今回のカフェで、気づくことができたとと思います。

政治的圧力と歪んだ文化行政！

文部科学省が名古屋市教育委員会に、前川喜平・前文部科学事務次官の中学校での講演内容について報告などを求めた問題で、愛知県の大村知事は「常識外れで、開いた口が塞がらない」「問い合わせはしつこく、非常識な文面は圧力以外の何者でもない。文科省は事実関係を明らかにするとともに、関係者の責任を問うべきだ」と述べてと文科省を強く批判、問題の糾明を求めました。まったくその通りだと思います。

前川氏の講演について、自民党文科部会の部会長を務める赤池誠章参議院議員は、記者団に「事実確認は日常業務で圧力にはあたらないだろう」と語り、自分がやったことを反

省する様子はありません。報道によると文科省は「副部会長の池田氏に調査の質問文を見せ、感想を求め質問文を直した」と言います。文科省は自発的にやったと政治圧力を隠そうとしていますが、文科省の自民党文科部会に擦り寄ろうとする姿勢が見え見えます。

森友問題とまったく同じ構図です。

順法精神も倫理観も崩れてしまっている安倍政権。改憲4項目のひとつに「教育充実」をうたっていますが、発表された案は、現憲法、教育基本法を尊重して教育行政に当たれば実現できることです。教育を改憲に利用しようとする魂胆は明らかです。



切り抜き帳



◆送電線利用 実は余裕あり

電気を通す道路である送電線。新たに発電事業を始めるには発電設備を送電線に接続させてもらうように大手電力会社に頼まなければならない。実際の送電線には空きがあるのに大手電力会社が「空きがない」として送電線の増強費用として、高額な費用負担を求める事例が全国で相次ぎ、再生可能エネルギーの新規参入をあきらめる事例が相次いでいる。（東京新聞）

◆辺野古海域に活断層か

名護市辺野古沿岸部の海底に活断層があるとして米軍普天間飛行場移設の危険性を学者が指摘している。政府は活断層の存在を否定するが、「移設は無謀。直ちにやめるべきだ」と警鐘を鳴らす。琉球大学の加藤祐三教授は、2000年に当時の防衛庁が作成した海底地層断面図で明らかになった50メートル以上の沈下を挙げ「間違いなく活断層だ」と強調した。この地点は地上で確認されている二つの「活断層」の延長線上にあり、地震を繰り返して層のずれが大きくなったとの見解を説明。「燃料タンクや弾薬庫がある基地の直下で地震が起きれば危険だ」と問題視した。(東京新聞)

沖縄防衛局がこれまで活断層付近で重点的にボーリング調査をしていることから「彼らもまずいと思って何度も調べているはずだ。活断層がないというなら生データを開示して証拠を示すべきだ」と訴えた。(沖縄タイムズ)

【会の活動報告】

○駅頭活動

* 4月 4日 (改憲反対3000万人署名) 西浦和駅

○映画上映会

* 2月25日 「原発の町を追われて 第3部」

○おしゃべりカフェ

* 3月25日 「オリンピック報道と平和について」

○会議

* 2月25日、3月25日 運営スタッフ会議

* 3月 7日、4月 4日 事務局会議

○地域からの呼びかけで参加

* 2月23日 「忘却に抵抗するドイツ『記憶の文化』の意味を考える」

講演：岡裕人さん

* 3月17日 「異性介護はどこまであり」 主催：虹の会



【これからの予定】

* 4月18日 署名活動 18時～ 中浦和駅

* 4月22日 学習会 14時～ 「市民から見たさいたま市議会・県議会」

会議 16時～ 運営スタッフ会議

* 5月 9日 署名活動 18時～ 南与野駅

桜区平和を考える会発行

ホームページは、「桜区平和」で検索!

<http://spa.g1.xrea.com/>

連絡先：090-8588-4966 (今井) 090-4433-7092 (小高)

090-6120-3411 (佐藤)

振込口座：ゆうちょ銀行

口座番号：00270-8-104990

加入者名：桜区平和を考える会

年会費：1,000円

振込手数料はご負担ください

会員募集中!
カンパ歓迎

